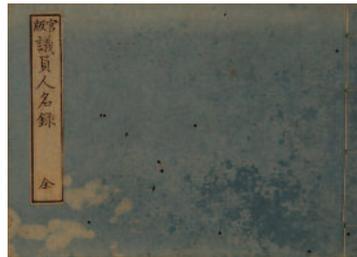
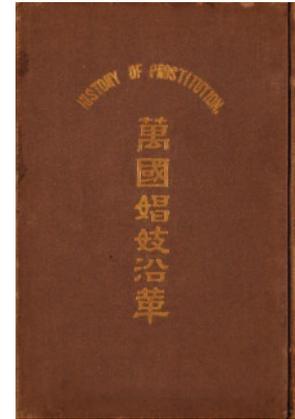


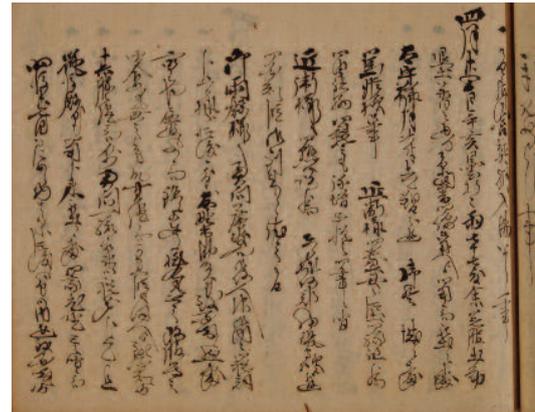
★本の大きさについて★

半は半紙判、洋装本の菊判（A5）に相当するもの。中とあるは美濃半截、洋装の四六判（B6）に相当。小は半紙半截以下のもの。大は美濃判、又はそれ以上の大形本。横は横綴本を指し、三ッ切は美濃判や半紙判を横に三つに截ったものを指します。

- 001 官版 議員人名録 籤 朱墨増補 柳河春三編か 明2 中横1册 品切れ
 =官版御用/竹口瀧三郎・上州屋惣七 少虫 帙入
- 002 近事紀略 4巻 籤(巻3・4籤コピー) 石津賢勤編 明6 半4册 品切れ
- 003 萬國娼妓沿革 米國サンガー著 土屋柳平譯 明23 四六判1册 15,000



=薩摩藩御廣鋪番頭仙波市左衛門日記。平成20年に大ブームとなったNHK大河ドラマ「篤姫」放送終盤の頃に突如出現して話題となり、テレビ・新聞をはじめマスコミから大きく報道された天璋院篤姫を中心に記した薩摩藩士の日記資料。日記の主は篤姫が鶴丸城入城から江戸城入城、そして明治維新後も篤姫に終生仕えた御中臈の實父仙波市左衛門。江戸薩摩藩邸から鹿児島までの往復道中日記や篤姫の動向がこと細かく記され、1000丁に及ぶその内容は膨大で資料性に富む。江戸期の数少ない女性資料としても注目される。大河ドラマの原作、宮尾登美子氏『天璋院篤姫』の末尾に記される網淵謙錠氏と宮尾登美子氏の対談によれば「ほとんど資料らしいものがなくて困ってりました。」と記されていることから本資料の存在があれば『天璋院篤姫』の内容は違っていたかもしれない。今後の篤姫研究に於いて欠くことのできない未発表資料である。
共同通信ニュース <http://www.47news.jp/CN/200809/CN2008092701000370.html>

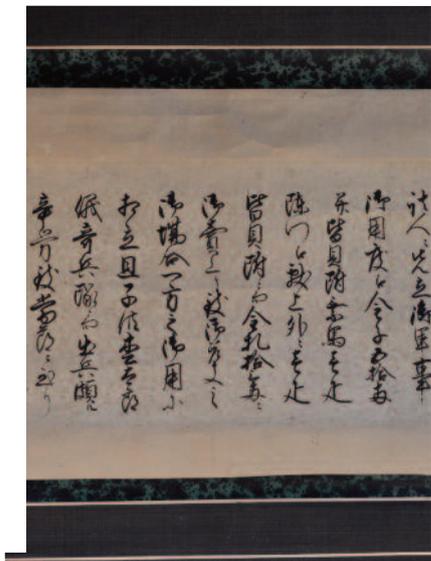
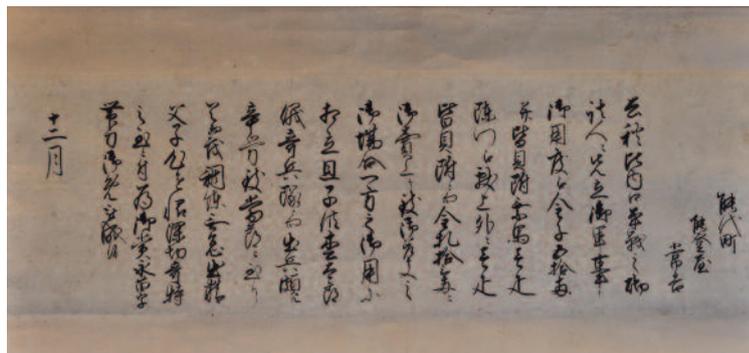


<篤姫と近衛家について>

005 能代町能登屋常吉苗字帯刀御免賞状幅

1 幅 25,000

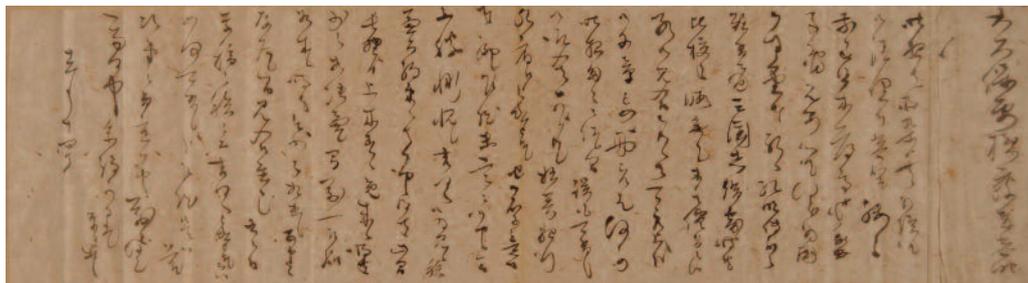
=ここに奇兵隊とあるが、會津藩の奇兵隊であろうか。軸長 87cm。



006 藤森天山書翰

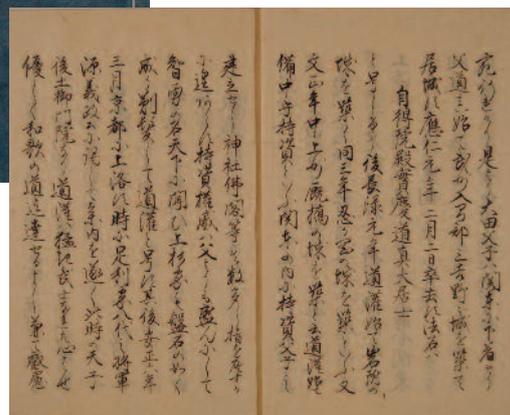
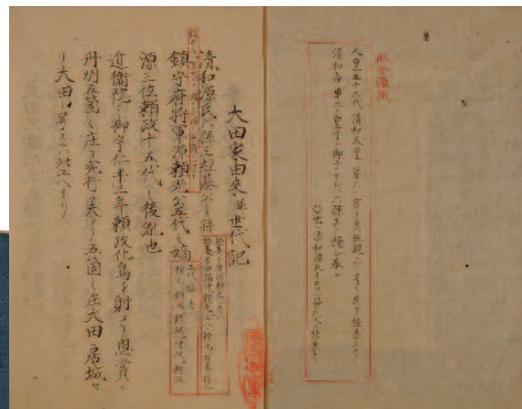
土浦藩士大久保要宛て 毛筆 24 行

1 通 品切れ

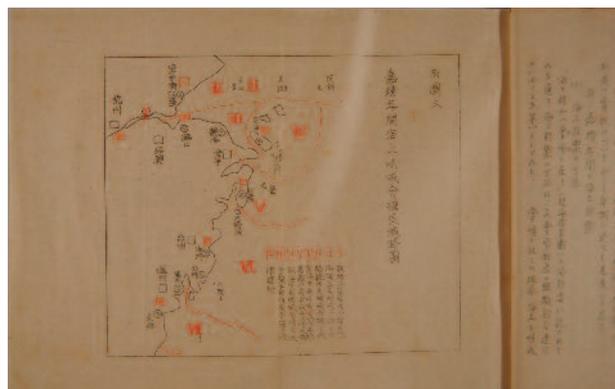
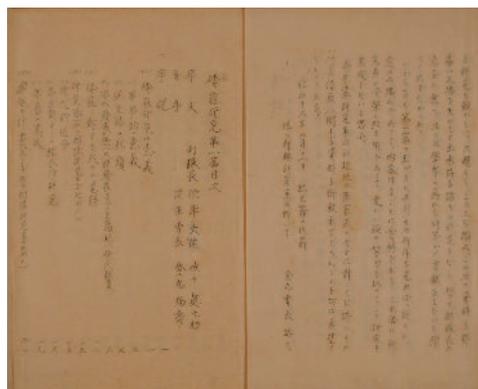


007 舊高崎藩神社考 寫本 35 丁 染ミ 明治 3 年閏 10 月 半 1 冊 品切れ
 = 田中毛野著 末に朱墨で「明治 13 年 2 月 26 日夜校合ス/土屋補三郎老平」
 田中毛野=田中亦太郎、高崎藩士、鈴木眞年、平田鋏胤に學び「古事記」「新撰姓
 氏録」の研究に励む。維新後宣教使を務めた。明治 6 年 10 月 30 日死去 31 歳。
 田中毛野このとき 28 歳、毛野の自筆本と考えられる傳本である。

008 岩槻軍記 上中下巻 精寫本 極美本 江戸末期寫 半 3 冊 品切れ



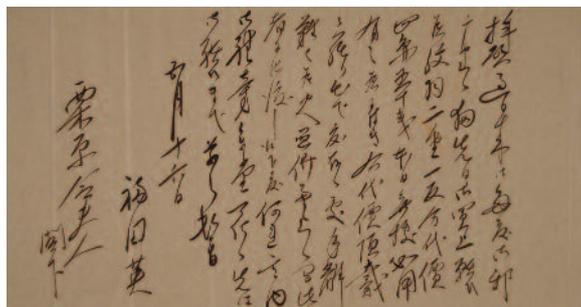
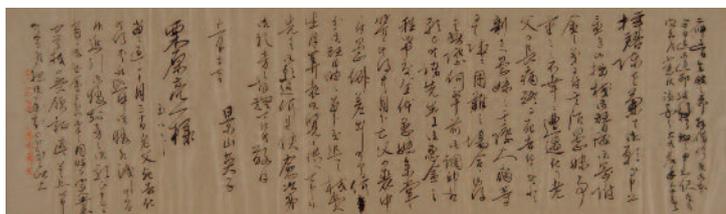
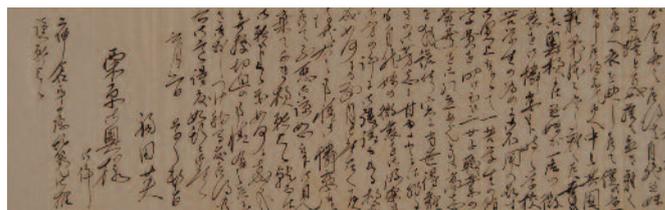
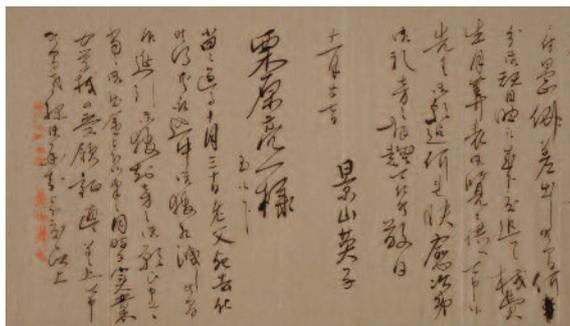
009 倭寇研究 第一～三篇 稿本 不許複製 昭16 大3冊 品切れ
 =佐々部隊研究室 羽鳥部隊情報研究室 謄寫版 生寫真入り 部隊長佐々真之助
 登丸福寿 茂木秀一郎担当 分量有り



010 福田英＝景山英子毛筆書簡

3通 300,000

＝栗原亮一宛て1通、栗原夫人宛て2通、景山の角笥女子工藝學校朱印の封筒1枚入。婦人解放運動のさきがけとして、また東洋のジャンヌ・ダルクと呼ばれ名を馳せる景山英子の書簡3通。大阪事件で逮捕されその首謀者大井憲太郎との間に一子をもうけるも大井の裏切りによって離別。後に中村正直の同人社の記者福田友作と結婚して三子をもうけたが貧窮のため死別。苦境の中でキリスト教に救いを求め翌年婦人に自活の道を教える目的で東京に角笥女子工藝學校を設立。一通の書簡の封筒の裏には角笥女子工藝學校の朱印が捺してある。宛先の栗原亮一は鳥羽藩士出身の政党政治家。西南戦争後は板垣退助の下で自由民権運動に挺身し植木枝盛らと各地を演説で廻り自由黨結成に参加した。

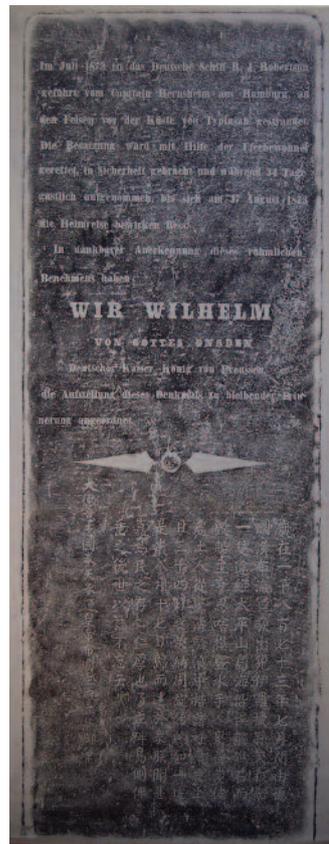
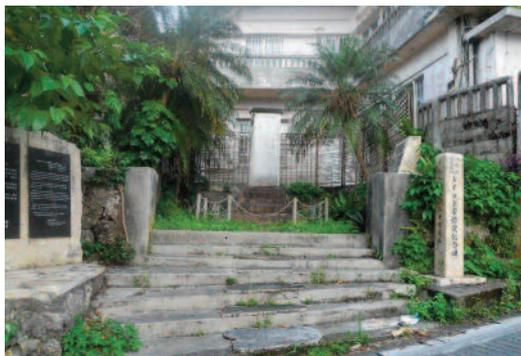


011 琉球宮古島獨逸皇帝博愛記念碑拓本 180×71cm 1枚 85,000

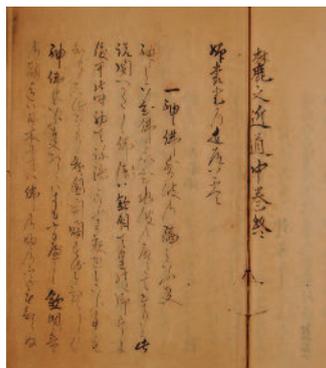
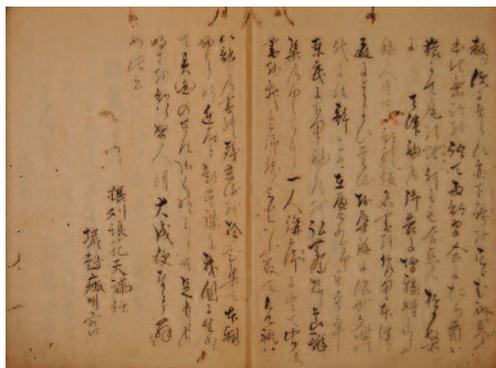
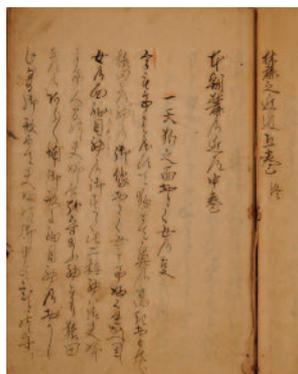
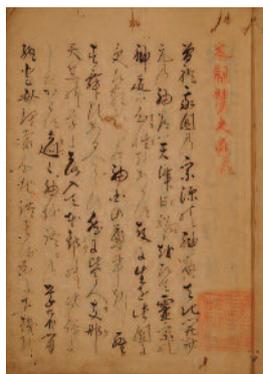
=現在沖縄県指定史跡となっている「ドイツ皇帝博愛記念碑」の拓本。

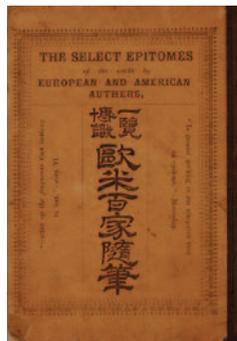
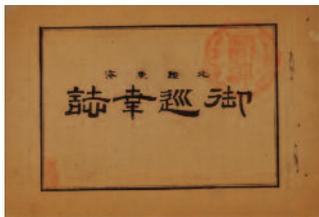
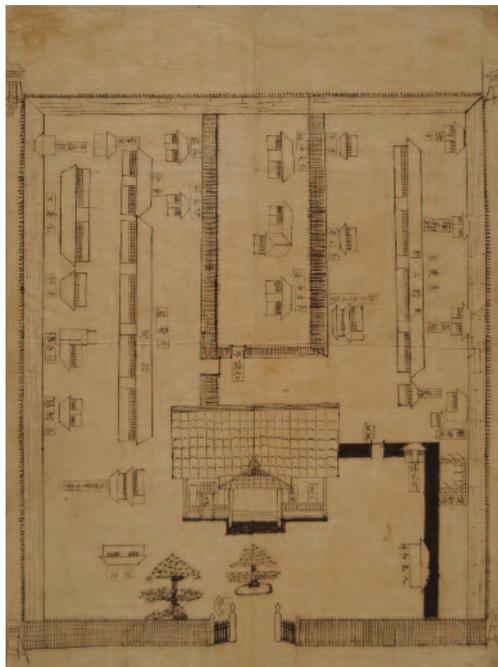
宮古島では有名な話ですが、1873年7月17日、獨逸商船ロベルトソン號は中國の福州から豪州に向かう途中、台風に遭い宮古島宮國（現上野村）沖で座礁。遭難した乗組員8人を島民が救助、凡そ一ヶ月の看護の後、官船を仕立てこの8人を歸國させた。この事実を知った當時の獨逸皇帝ウィルヘルム一世は宮古島民の行動に感動し、1876年3月、軍艦チクログ號を派遣して宮國村に記念碑を建てたそうです。その後宮古島ではこの事実と記念碑は忘れ去られていたそうですが、昭和初年にこの石碑の調査が行われて再発見され、そしてこの博愛美談は昭和12～14年に四年生の修身教科書に記載されました。現在この拓本のオリジナルの石碑は風化が激しく、1972年救出100周年を記念して複製記念碑が建てられたそうです。オリジナルは今でも宮古島市役所から繁華街を港へ下った住宅地の一角にひっそりと佇んでいます。

宮古島では上野村に「うえのドイツ文化村」を建て現在も獨逸との交流を大切にしています。この記念碑の寫眞は私が實際その地を訪ね撮影したものです。ここへ向かうため、そのとき乗った地元のタクシーの運転手は記念碑の存在を全く知りませんでした。



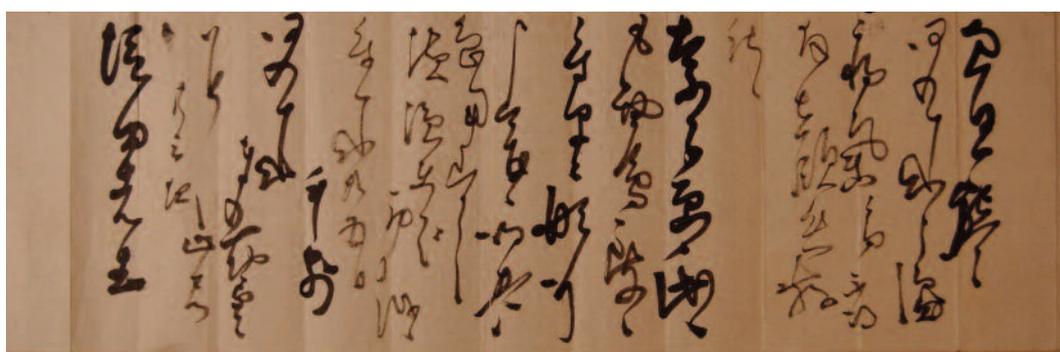
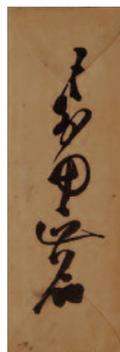
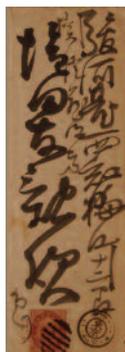
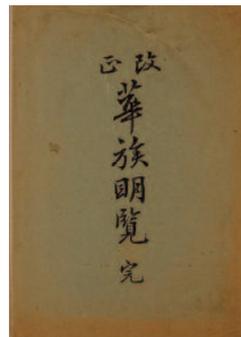
- 012 前橋風土記 纂 豊國義孝編 大元 大1冊 品切れ
- 013 本朝麓之近道 上中下巻 元合本 寫本 73丁 享保16年寫 極大1冊 30,000
=天狗之面くせ乃事他
- 014 開山吞籠上人傳 纂 袋附 淡彩繪入 新田大光院 明11 大1冊 15,000
=江戸日本橋/小川爲治・京都/小川平吉 攝州浪花天満社/堀越齋宮序



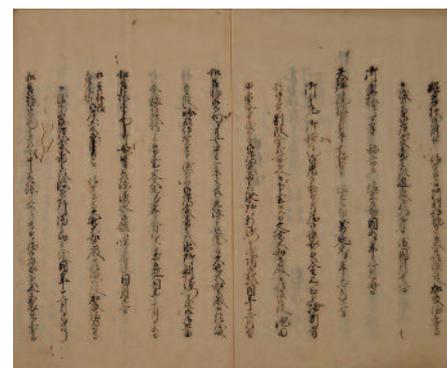
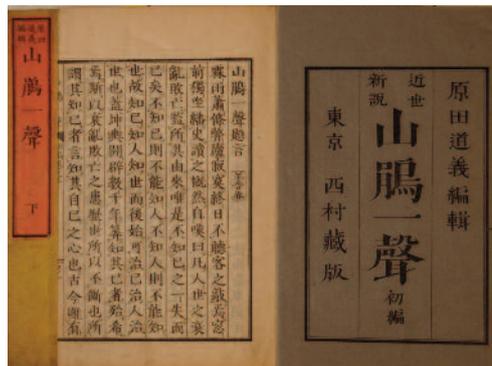


- 015 女監獄の圖 24×33cm 場所は不明 明治初期の寫か 1枚 品切れ
- 016 北陸東海 御巡幸誌 長埜縣／西澤喜太郎編版 明 11 中横 1册 品切れ
- 017 日光御宮御參詣 供奉御役人附 簽 蔦屋重三郎他 天保 14 三ッ切 1册 品切れ
- 018 一覽博識 歐米百家隨筆 ボール表紙 森斌編 明 20 四六判 1册 10,000
- 019 小牧陣始末記 谷干城論評 宇都宮三郎口述 忠愛社 明 22 四六判 1册 品切れ
=日本戰史材料第壹卷

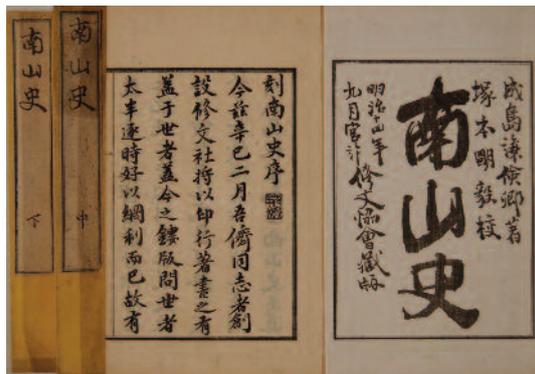
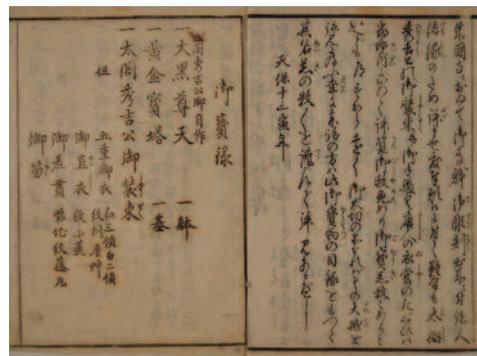
- 020 歩兵第二十八聯隊 國家之干城 旭書院賣捌 明 35 四六判1冊 5,000
 =北海道旭川町／上條虎之甫編
- 021 改正 華族明覽 木下東一郎編 穎才新誌社 明 21 四六判橫1冊 15,000
- 022 新發田聯隊區將校團報 第十號 大正3年9月發行 菊判1冊 3,000
- 023 貴族院議員／前田正名封筒付書簡と寫眞 1通・1枚 品切れ
 =塩田友親宛 消印明治14年 寫眞10×6cm



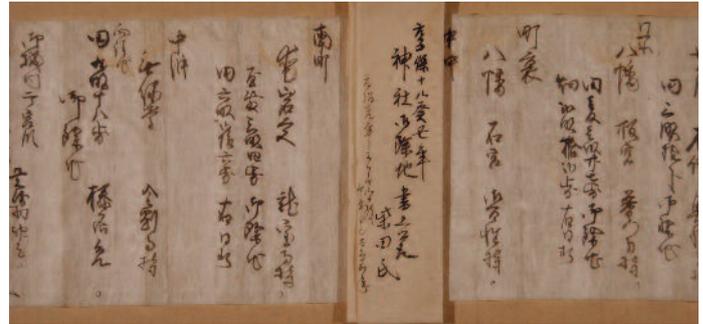
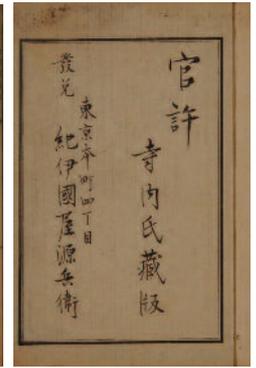
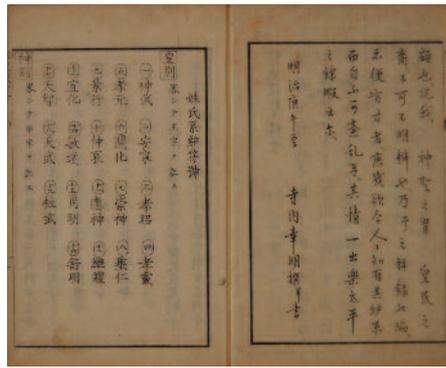
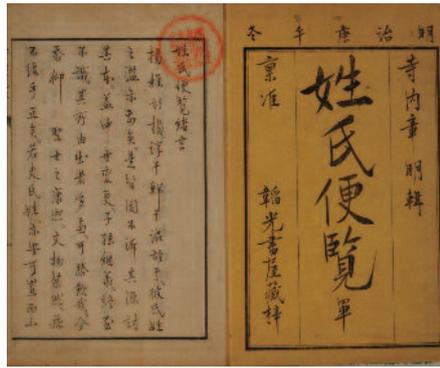
- 024 近世新説 山鵑一聲 上下卷 簽 原田道義編 明7 半2冊 30,000
 =上野戰爭記 西村隼太郎參攷 西村藏版 大和屋喜兵衛發兌
- 025 濱松藩初番組別所佐十郎由緒書 寫本9丁 明治3年寫 半1冊 15,000
 =天璋院篤姬・和宮様より御臺様云々



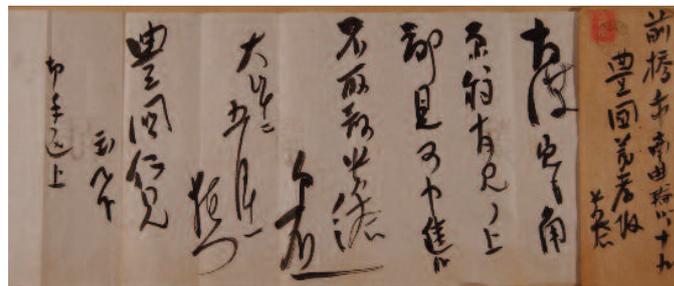
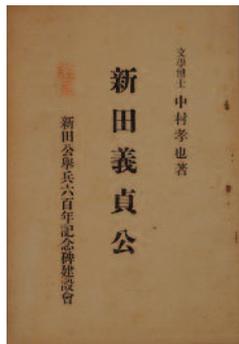
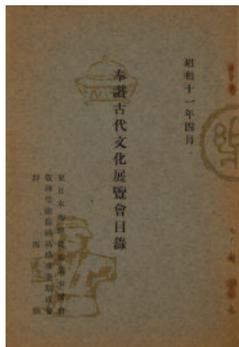
- 026 英傑 三國誌傳 簽欠 梅窓園畫 秋艸菴著 弘化 5序 中 1册 品切れ
- 027 高山芳躅史 簽 袋附 久保要藏編 雀里會 大 15 半 1册 5,000
- 028 南山史 上中下巻 簽 成島謙儉卿編 塚本明毅校 明 14 半 2册 15,000
- 029 大佛殿 御寶録 摺外題 5丁本 天保 13年序 中 1册 10,000
 =洛東方廣寺大佛殿 秀吉公御寶物録



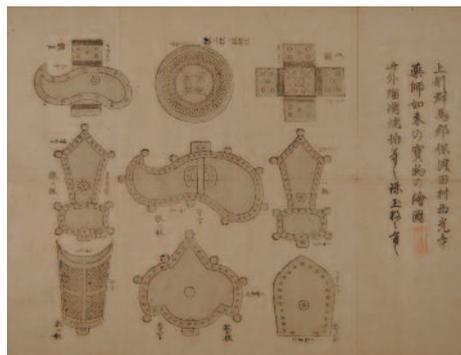
- 030 姓氏便覽 簽 寺内章明輯 韜光書屋藏梓 明3 中1册 35,000
=發兌／紀伊國屋源兵衛
- 031 唐船神奈川表入津之内公儀献上之品 江戸末期寫 1枚 5,000
- 032 享保18年神社御除地書上覽 袋入 元治元年寫 1通 5,000
=上州高崎藩内柴田氏書寫



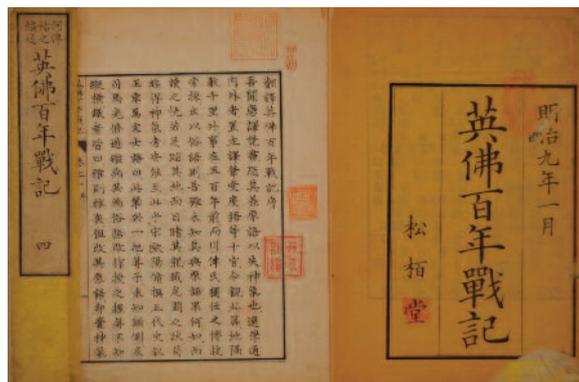
- 033 奉讀古代文化展覽會目錄 吉田吉次郎 群馬縣 昭 11 四六判 1冊 2,000
 034 驛名の起源 北海道驛名起源 札幌鐵道局 大正頃刊 四六判 1冊 15,000
 035 新聞の歴史-瓦版から輪転機時代まで- 小野秀雄著 昭 30 新書判 1冊 4,500
 036 新田義貞公 中村孝也著 新田公舉兵六百年記念碑 昭 8 四六判 1冊 2,000
 037 上野國名跡概略 美本 齋藤惇編 成立舎 明 35 四六判 1冊 品切れ
 038 徳富蘇峰書簡 豊國義孝宛て 封筒附 1通 品切れ

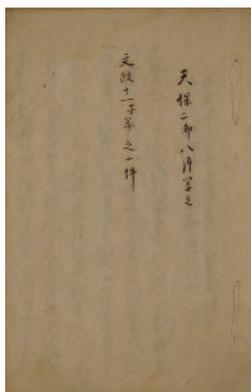
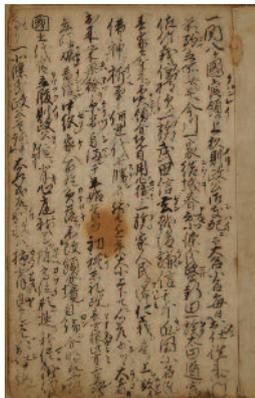


- 039 明治外史 初篇 松村操編 望月誠出版 明 14 四六判 1冊 品切れ
 =明治元年 1月至 12月
- 040 上州群馬郡保渡田村西光寺薬師如来の寶物の繪圖 31×41 1枚 5,000
- 041 改正 列藩一覽 簽 御用御書物師/須原屋茂兵衛 明 3 三ッ切 1冊 25,000
- 042 嘉永癸丑 吉田松陰遊歴日録 ポール表紙 明 16 四六判 1冊 15,000
 =長門/吉田寅次郎遺著 品川彌二郎校正
- 043 近世英雄 名譽新史 簽 松本長四郎編 甘泉堂 明 11 小 1冊 10,000
 =出雲寺萬治郎出版



- 044 英佛百年戰記 4卷 簽 河津祐之編 松栢堂 明9 大4册 50,000
 045 杜騙新書譯解 上下卷 簽 大清浙江張應俞著 河原英吉譯解 明12 半2册 品切れ
 046 法越交兵記 全5卷元合本 ポール表紙 曾根嘯雲輯著 明19 四六判1册 品切れ
 =大清/王韜仲口纂集 越南/阮述荷亭校閱 報告社藏版 銅版画入

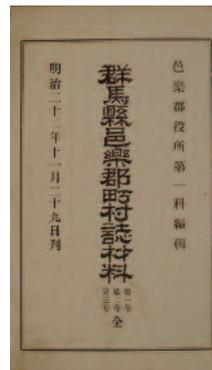
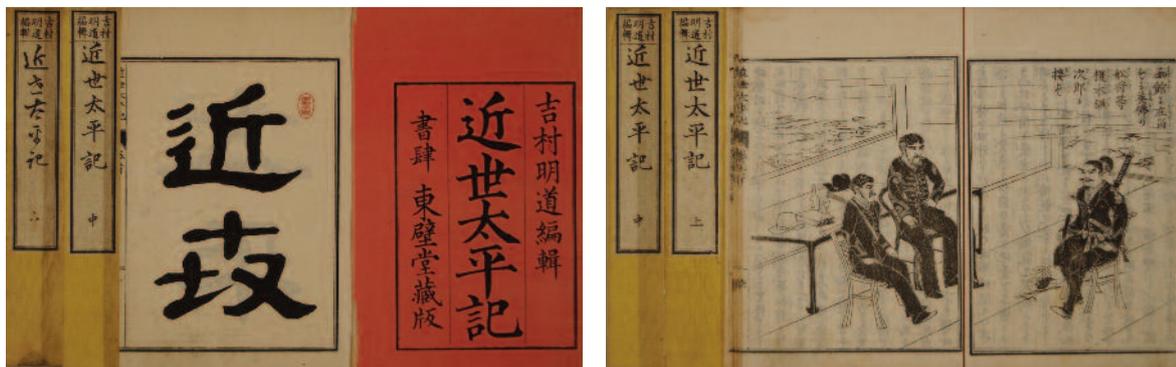




=享保十年十月五日信州松本城請江御上使松本城主眞田家道中行列之次第

049 近世太平記 上中下卷

簽 帙入 吉村明道編 明7 半3册 35,000

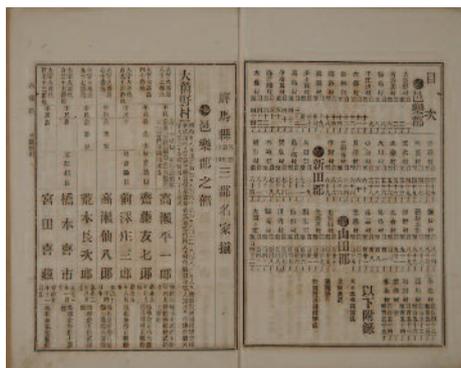


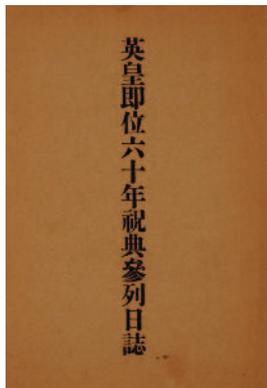
050 標註 日本佛法史 上中下卷 簽 田島象二著 任天書院藏版 明17 大3册 25,000

051 群馬縣近世善行錄 簽 吉田賢二編刊 明27 半1册 品切れ

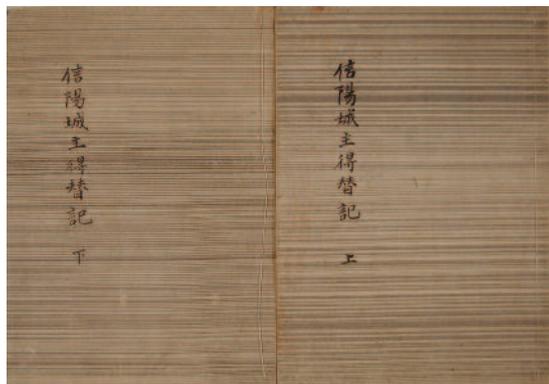
052 群馬縣邑樂郡町村誌材料 全3卷 元合本 簽 邑樂郡役所第一科編纂 明22 半1册 15,000

- 055 群馬縣 邑樂山田新田 三郡名家揃 美本 帙入 明 29 菊判 1 册 品切れ
 =横須賀源次衛門編 水戸／弘文社印行
- 056 上野國分寺文字瓦譜 扉少傷 相川龍雄編 昭 9 大 1 册 品切れ
 =秋艸道人題字 和紙袋綴
- 057 遠野南部家御禮帳 17 丁 嘉永元年申 9 月 三ッ切 1 册 15,000





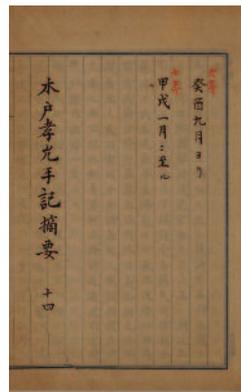
- 058 英皇即位六十年祝典参列日誌 極美本 明30 菊判1冊 35,000
=齋藤桃太郎發行 印刷者/東洋社/磯野新 この年代にして寫眞製版が素晴らしい。當時の最高水準の印刷技術を示す資料であろう。
- 059 國勢變革提要 簽 長野小縣/上野尚志述 明13 中1冊 3,500



060 信陽城主得替記 上下巻

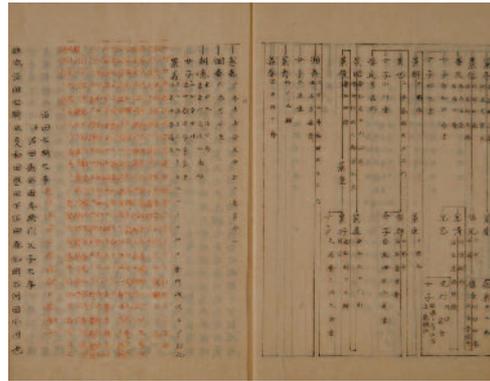
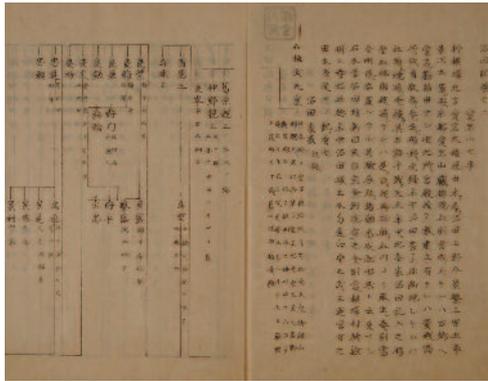
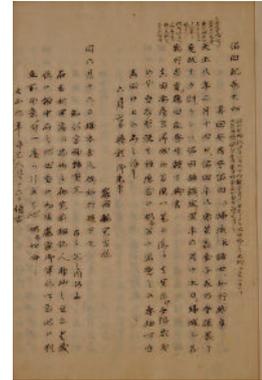
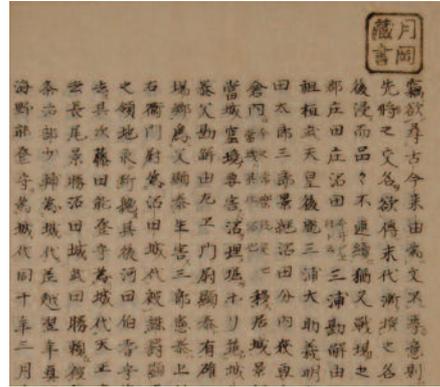


061 木戸孝允公手記抄 自明治6年9月・至明治7年1月 寫本59丁



大2册 35,000
半1册 品切れ

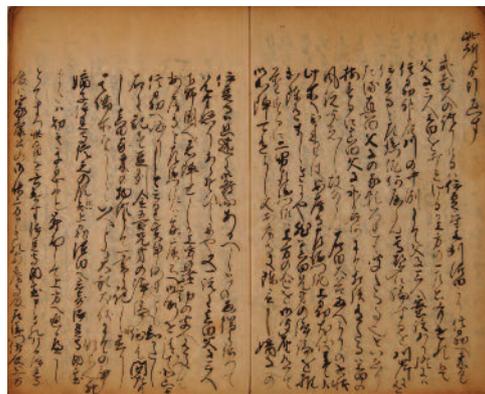




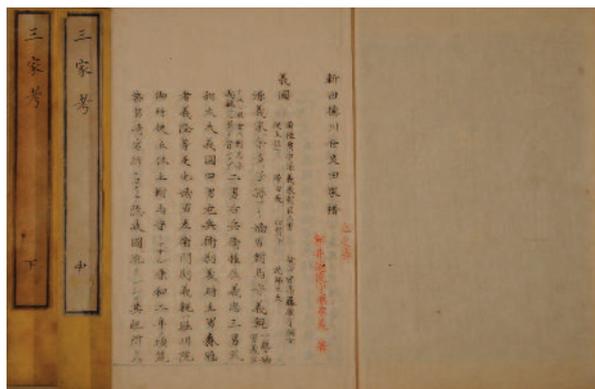
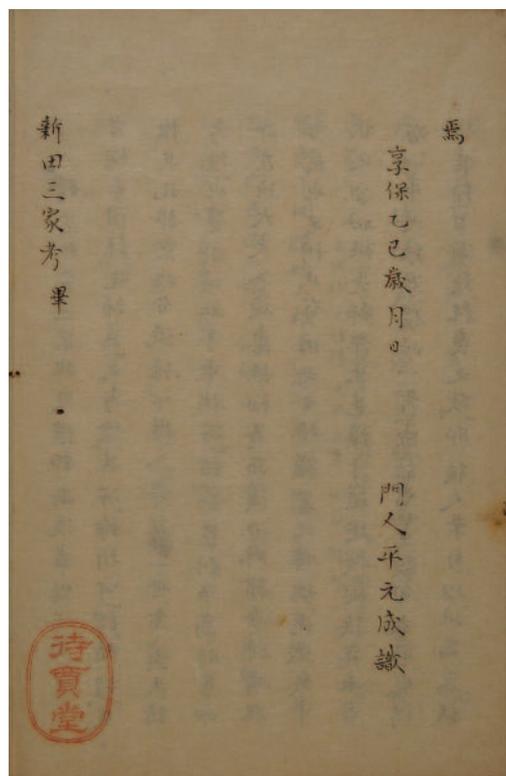
062 古今沼日記 5巻
=巻4と巻5を合本して4冊

精寫本 帙入 江戸後期寫
松代藩家臣月岡家舊藏本

大4冊 品切れ

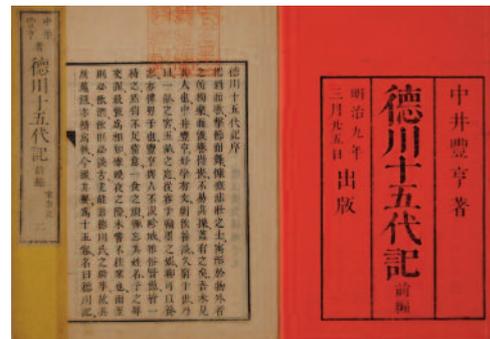
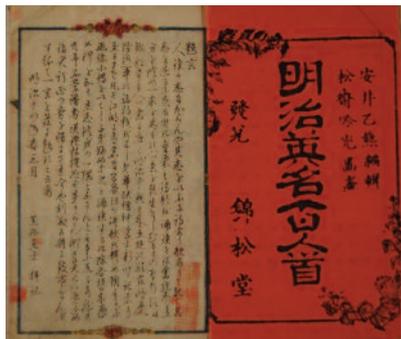


063 真田家記 寫本 48丁 帙入 松代藩士月岡家舊藏本 江戸中期寫 大1册 品切れ
 064 愛國偉績 正續各上中下巻 簽 帙入 會津/小笠原勝修先生撰 柏悅堂梓 明8・明10 中6册 20,000

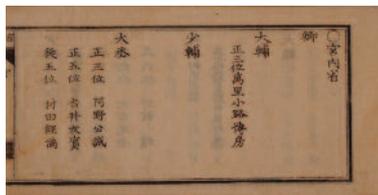
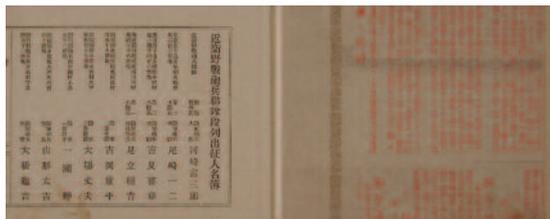


- 065 三家考 上中下巻 新井筑後守源君美（新井白石）著 寫本 享保10年跋 半3册 品切れ
 =「新田徳川世良田家譜」 巻末に幕末の珍本古書肆達磨屋五一の「待買堂」の朱印有り。
- 066 國史纂論 10巻 元合本 背革装釘 山縣禎著 明倫館藏版 東奥安積信跋 明11 四六判1册 10,000

- 067 明治英名百人首 簽 安井乙熊編 松齋吟光画 明 15 中 1 册 3,000
 068 明治英名百詠撰 簽 生田芳春画 篠田仙果編 明 12 中 1 册 品切れ
 069 東照宮一代記 簽 松井惟利編 木曾正義藏版 明 13 中 1 册 5,000
 =松平容保公題字 橋爪貫一校訂
 070 徳川十五代記 前編 2 卷 家康記 簽 中井豐亨著 明 9 半 2 册 3,000



- 071 日露戦争 従軍名簿 簽 近衛野戰砲兵聯隊段列 明 38 小横 1册 5,000
 072 古代 大名分限帳 寫本 27丁 江戸末期寫 半 1册 10,000
 073 官板 袖珍官員錄 宮内省 9月4日改 須原屋・和泉屋 三ッ切 1册 品切れ
 074 國勢變革提要 簽 少剥落 上野尚志述藏 明 13 中 1册 3,000



075 長州奈古村西村利右衛門家文書

3巻 品切れ

=寛政～幕末～明治初期。長門國阿武奈古村の豪商西村利右衛門の文書
3巻。西村家の江戸後期より明治初期に至る長州藩・石見藩などに
對する巨額の資金援助を記しそれを裏附ける證文資料群。
それぞれ紙高36・31・30cm。各巻極めて長巻。

江戸時代末期に出石藩で發生した仙石騒動と、それと同時に發覺した
國禁の密貿易、竹島事件で失脚した石見浜田藩三代藩主松平康任の
子、康爵が天保7年に陸奥棚倉藩に懲罰的轉封を命じられた際の資
金援助の覺書もあり。長州藩の討幕派に軍艦や鐵砲の購入、製鐵所の
建設、奇兵隊の軍用資金献納など巨額の資金援助をしたと傳えられる
萩の豪商熊谷五一は西村利右衛門の長男である。明治時代に至り西村
家の五男として生まれた岡十郎は慶應義塾で福澤諭吉に學び、山口縣
仙崎にノルウェー式捕鯨會社の日本遠洋漁業株式會社を設立して活躍
した。

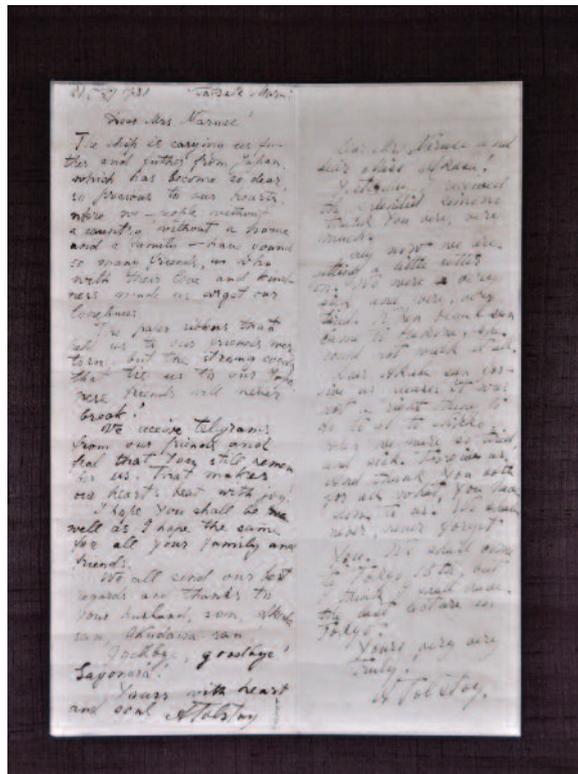
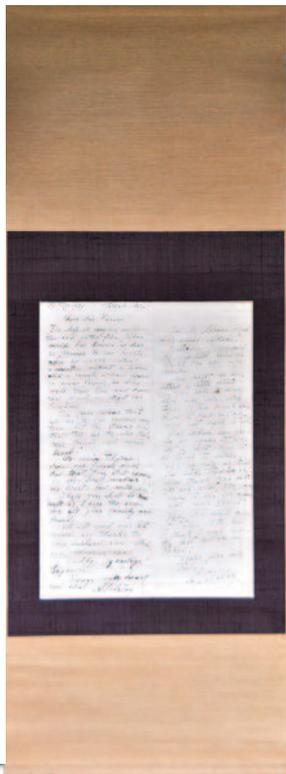


備用申金子事
 一合千貳百兩定
 但利是月利銀奉
 利息相調完全奉
 向丙子之格兼強調
 可中後事
 此貨物
 本古舟支村中米酒
 三石在仕清之數回發兌
 格枚拾子通用在奉
 公事及納有之公事

米石七斗
 西村利壽
 右經米之月日立
 更之方立通給
 林下馬士候
 九月
 西村利壽
 右之故心月立
 上立下給林下
 九月
 西村利壽

為御重役候御許申文
 右渡包中尚如件
 西村利壽
 中村良吉
 小林之百所度
 右市之通御世常高備用
 右透世出立奉之通用清之形
 右出收納有之方立奉送

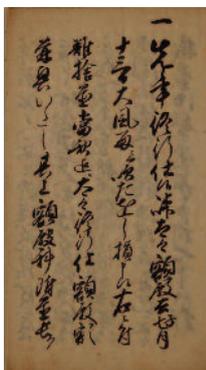
沈文
 一合千貳百兩
 但利是月利銀奉
 右市之通御世常高備用
 右透世出立奉之通用清之形
 右出收納有之方立奉送
 西村利壽
 中村良吉



076 トルスタヤ女史書筒幅

1幅 200,000

=文豪トルストイの末娘アレクサンドラ・トルスタヤはソ連政權に絶望して日本へ脱出し2年近く滞在し、その後アメリカ合衆國に亡命する。アメリカに向かう龍田丸の船中で日本で世話になったナルセ夫人に送った手紙と、ナルゲ氏とアカダ夫人に送った手紙の2通。龍田丸の消印のある封筒附。翻譯された文面あり。消印の日付は1931年7月21日。51×37cm。軸長133cm。函。

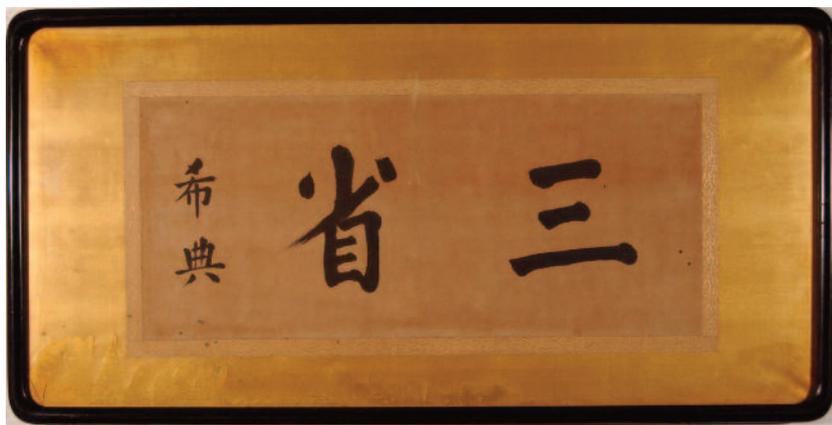


- 077 碓氷峠冬々奉納並興名隊 寫本 4丁 寛政6年5月 半1册 25,000
 =碓氷峠關所/佐藤名左衛門/信恒「花押」
- 078 新田金山傳記 寫本 32丁 新田郡平塚/田部井寫 天保3年 半1册 品切れ
- 079 武家必撃 泰乎車表 簽 雁皮紙摺 忍屋隱士謹輯藏版 無刊 中1册 品切れ

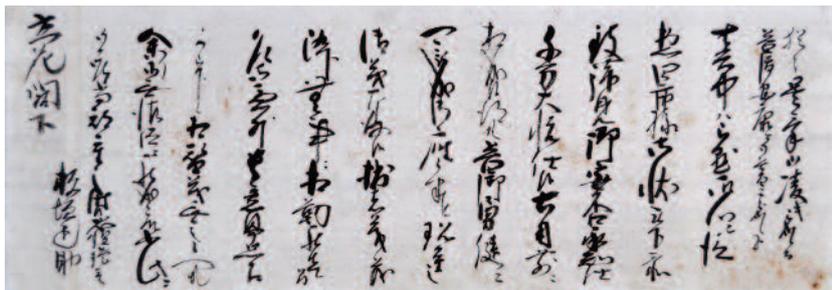


- 080 皇國三傑傳 著 岩村吉太郎編 岡田伴治出版 明 11 極小 1 冊 5,000
=大久保利通・西郷隆盛・木戸孝允公傳
- 081 西南慰勞巡廻日誌 著者及刊年不明 明治 10 年頃刊 四六判 1 冊 10,000
- 082 日本女性史 伊藤銀月著 如山堂書店 明 40 菊判 1 冊 5,000
- 083 宮古島庶民史 稻村賢敷編 那覇市／共同印刷社 昭 32 菊判 1 冊 品切れ
- 084 赤尾分限帳 36×46 江戸末期刊 1 枚 10,000
- 085 歩兵第十五聯隊聯隊歴史 岡崎豊編 龜升屋書店 昭 5 菊判 1 冊 5,000





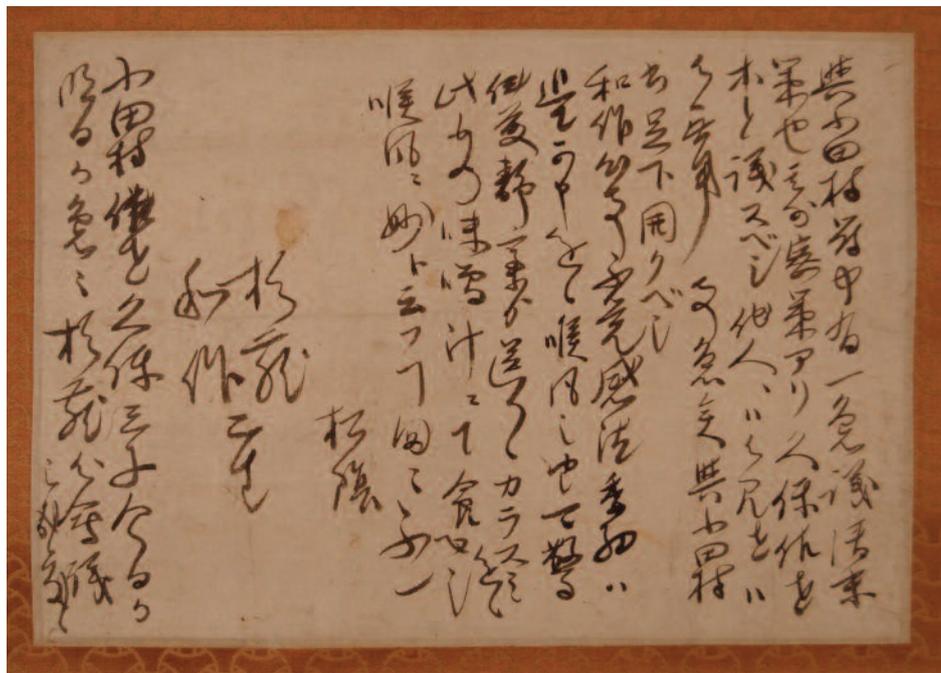
086 乃木希典遍額 紙本 額の大きさ 47×94cm 1面 品切れ



087 板垣退助書簡幅 軸長 144cm 書簡 16×42cm 函 1幅 品切れ

=立花閣下宛。立花閣下はおそらく柳川藩の農學者立花寛治と思われる。板垣は柳川に遊説したことがあり、そこで立花に世話になった際の禮状が高知市立自由民権記念館に存在する。立花は柳川藩最後の藩主鑑寛の次男として生まれた。



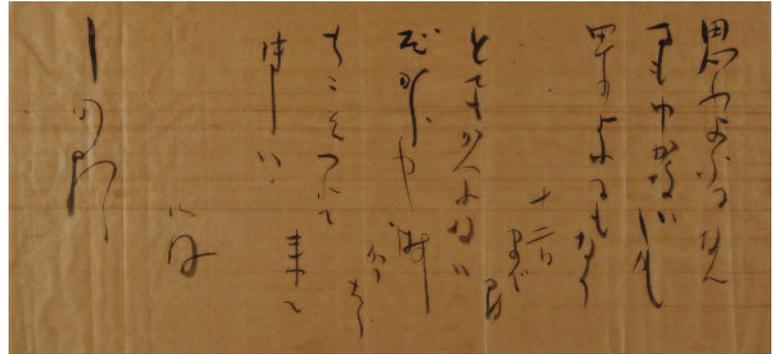
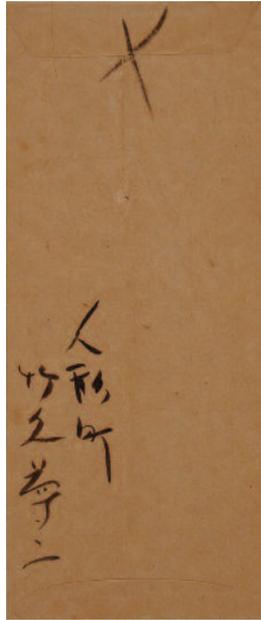


088 吉田松陰書簡幅

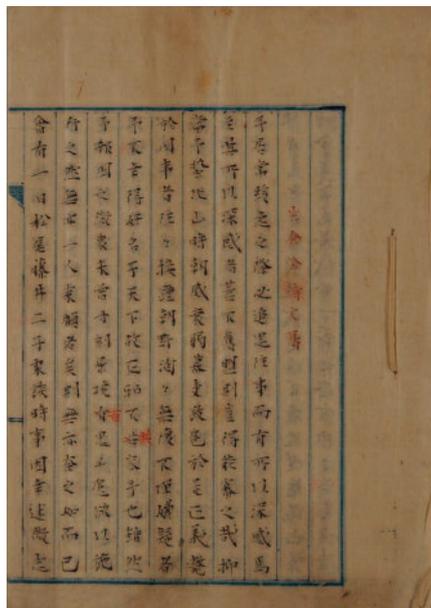
=杉藏・和作宛 23×34 軸長111cm

吉田松陰が弟子の入江杉藏とその實弟野村和作に宛てた書簡。小田村と記すは松陰の妹を妻とした後の群馬縣令揖取素彦か。入江杉藏（九一）は高杉晉作・久坂玄瑞・吉田稔麿と並んで松門四天王の一人。久坂と共に禁門の變で切腹死去。野村和作は老中の間部詮勝暗殺計画を企んで兄の杉藏と投獄される。維新後、岩倉使節團の一員として渡歐、政治家としても活躍する。

1幅 品切れ



089 竹久夢二書簡 封筒附 1通 品切れ
 =山路しの宛 何故か逆さに貼られた切手の上に僅かに繪の具が乗っているので
 切手を貼ってから夢二が繪を描いたことがわかる。



090 岩倉公詩文寫

寫本4丁 明治期寫

半1冊 10,000



091 北滿に於てル歩兵十五聯隊活動ノ状況 39×26 昭和7年頃

1枚 5,000

092 日露戰役紀念野戰後備歩兵第十五聯隊勇將諸君肖像 明38
=豐國覺堂編 高橋政吉發行

1枚 15,000

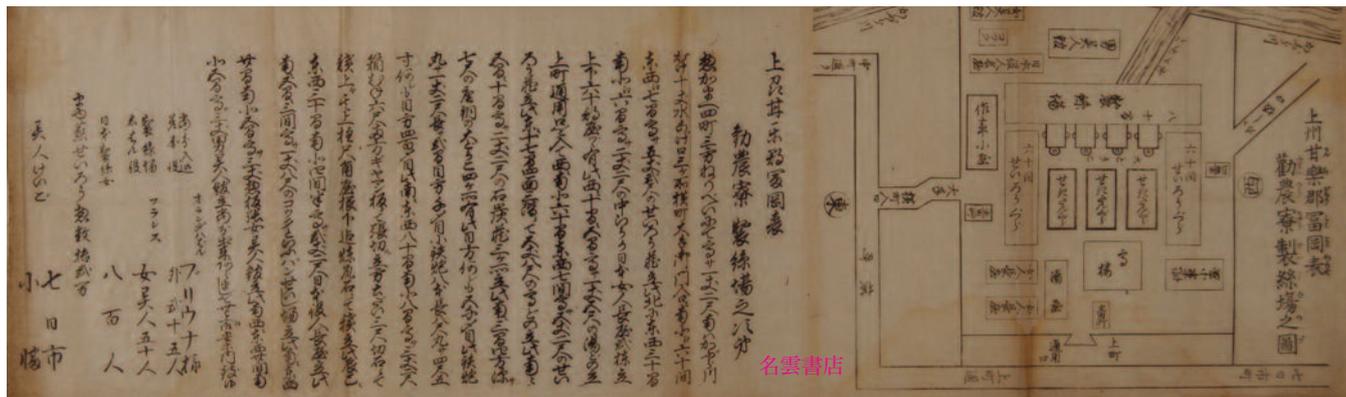


093 歴史地理叢書 古戰場

正續 カバー 六盟館 明33

文庫判2冊 6,000





この圖版の無断転載を禁じます

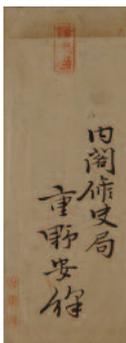
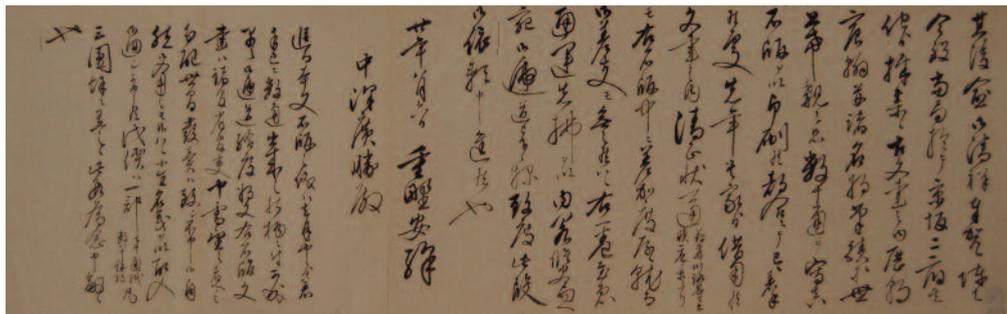
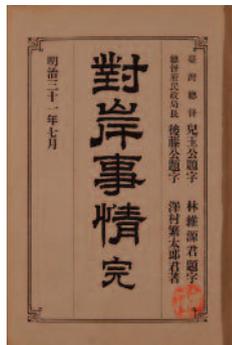
094 上州甘樂郡富岡表勸農寮製絲場之圖

無刊記

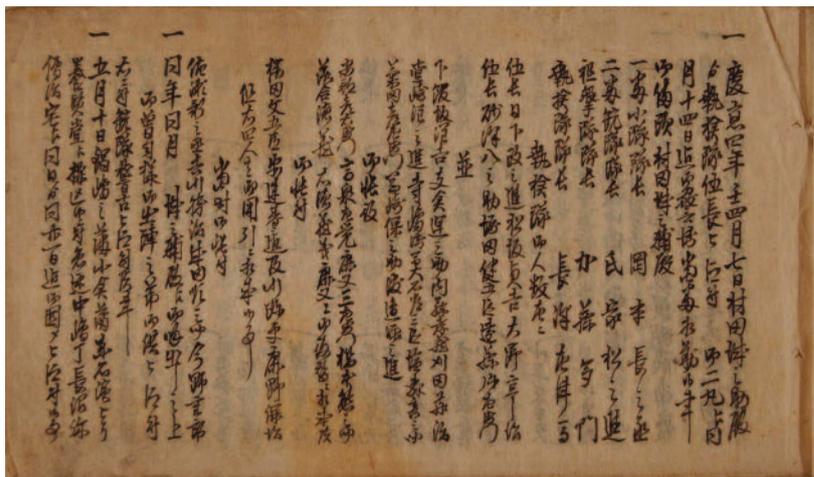
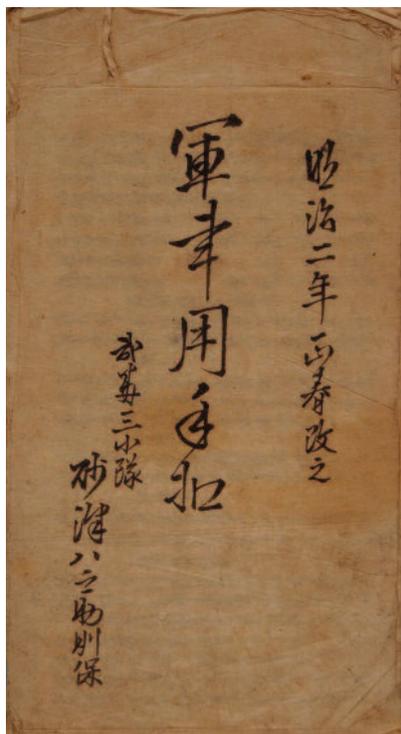
1枚 品切れ

=製絲場之圖と製絲場之次第。明治5~6年頃刊。24.5×81.0cm。

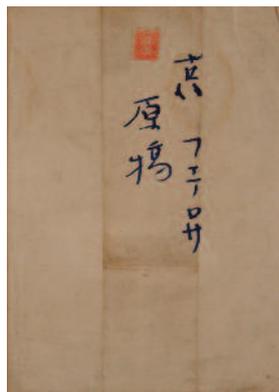
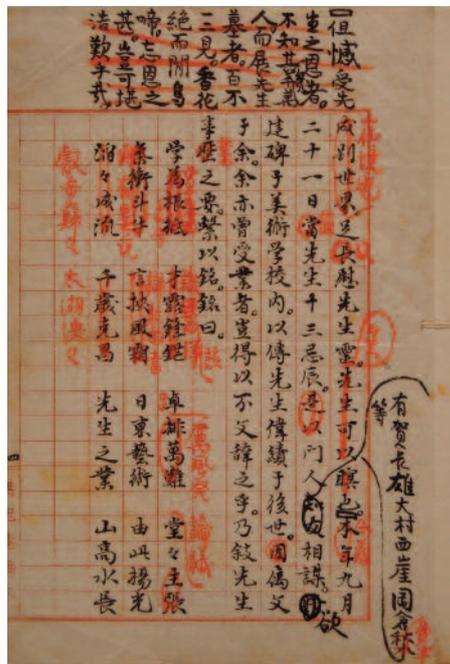
現在世界遺産を目指している富岡製絲場の極初期に於ける摺物。初期の摺物は、大判3枚綴の鳥瞰圖的な錦繪の前に小判の簡素な全景圖が極稀に流布するが、この形式の摺物は初見。新出の摺物ではないかとも考えられる。差圖役となっている「ブリウナ」(ブリューナ)はフランス人のはずだが「オランダ八幡」と記されている。製絲場の師範役のフランス人女異人や日本製絲女の人数、建物の寸法や材質などの記録や「パン」を製造する「コック」について等が記されており興味深い資料である。



- 095 第二回日本聯合醫學會誌 吳秀三 富士川游編 明 40 四六倍判 1册 25,000
- 096 對岸事情 林維源題字 澤村繁太郎著 明 31 菊判 1册 25,000
=臺灣總督／兒玉公題字・總督府民政局長／後藤公題字 地圖多數入
- 097 朝鮮史綱 上下卷 西村豐著 敬業社發兌 明 28 菊判 2册 15,000
- 098 露西亞の暗面 田中松之助編 法令館 明 37 菊判 1册 3,000
- 099 薩摩義士之偉業 松永富五郎 岐阜縣海津郡役所 昭 2 菊判 1册 品切れ
- 100 重野安繹書簡 明治 20年 8月 8日 1通 15,000
=上州境町の郵便局長で『白石印譜』を編した中澤廣勝宛て



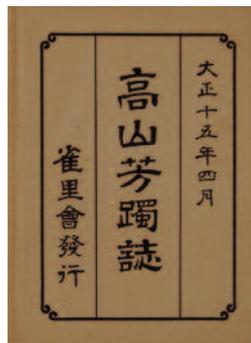
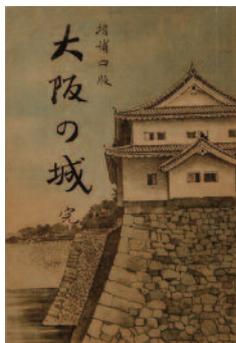
101 軍車用手扣（旗卷峠の戦い）寫本 9丁 明治2年丙春改之半横1册 品切れ
 =式番三小隊／砂澤ハ之助別保。仙臺藩と新政府軍が激突した相馬中村藩と仙臺藩との境にある旗卷峠の攻防により行われた「旗卷峠の戦い」と呼ばれる戊辰戦争の詳細な戦況日誌。実際に従軍した砂澤が慶應4年に記したものを明治2年に精寫した。



102 斐諾洛薩（フェノロサ）先生碑原稿

5点1括 250,000

=大正9年9月21日、フェノロサの13回忌法要の際に東京美術學校、現在の東京藝術大學に建立された記念石碑の大村西崖自筆原稿と井上哲次郎の自筆と考えられる原稿他校正資料。大村西崖の號である無記菴、「無記菴稿本」と刻した原稿があり、大村・井上らが苦心して撰文したことを裏付ける資料。大正9年5月1日、帝國ホテルにおいて懇談會が行われ記念碑の撰文を井上哲次郎、書を大村西崖に託すことを決めたと云う。現在も東京藝術大學の正門から入ってほぼ正面に建っている。石碑に刻まれるフェノロサの肖像画は長原孝太郎、刻は廣羣鶴の手になる。撰文は井上哲次郎とされているが實際は大村西崖も撰文に深く関わっていたことをここに證明する。



- | | | | | | | | |
|-----|-------------------------|--------|-------|--------|------|-------|-------|
| 103 | 多胡碑集説 | 上毛及上毛人 | 豊國義孝編 | 大3 | 菊判1册 | 5,000 | |
| 104 | 大阪の城 | 附圖入 | 増補4版 | 木村文治郎著 | 明36 | 菊判1册 | 8,000 |
| 105 | 高山芳躑誌 | 簽袋附 | 極美 | 久保要藏編 | 大15 | 半1册 | 5,000 |
| | =高山彦九郎略傳・遺事・系譜・日記・修身養生訓 | | | | | | |